

生涯学習

研究部だより

No. 6

本校で定義をしている
「生涯学習力」について
夏のセミナーと学部の
授業実践を基に
確認しよう



「生涯学習力」の定義

本校では、令和元年度の研究の中で「生涯学習力」を次のように定義付けました。

主体的にヒト・モノ・コトに関わり 生涯にわたって学びに向かい 成長しようとする力

「生涯学習力」で用いられている文言について

主体的（主体性）には段階がある



主体性：自分（が・は）何をやらたらいいのか考えてやろうね



自主性：自分で（今、何をやらたらいいのか）考えてやろうね



自立性：自分（一人）でやろうね



自発性：自分（から・で）やろうね



夏のセミナー：菅野先生の講話より

ヒト・モノ・コトとは？

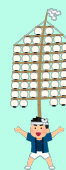
ヒト（人）：学級の友達や学校の先輩、後輩、学校の先生や地域社会の人等



モノ（物）：本、トマト、カメラ、竿燈などの物、タブレット端末や衣服などの生活用品、体育館や社会文化施設などの建物



コト（事）：モノとの出会い、モノの使用や利用、モノの購入などにより得た体験や出来事・行事



「〇〇しようとする」とは？

「〇〇しようとする」は、物事を意欲をもって行おうとする様と言い換えることができ、**意欲**や**態度**を育てることを目指している。

態度は、2つの側面で捉えることができる。

物理的な意味での態度は、**心の動きが表面に現れること**。
精神的な意味での態度は、**心構えのこと**。

学部の授業実践から 研究部だよりNo. 2～4 参照

本校では、「生涯学習力」を主体的にヒト・モノ・コトに関わり、生涯にわたって学びに向かい成長しようとする力と定義し、児童生徒の「生涯学習力」を高めることを目指して授業実践を行なっています。

研究部だよりNo. 2～4にあるように、各学部の授業実践を整理すると、学部において「生涯学習力」の中で重点を置いている箇所が少しずつ異なっていることが分かります。重点を置いている部分のイメージ図を以下に示します。

小学部は、主体的にヒト・モノ・コトに関わるための素地として、興味・関心を広げたり、深めたりすることに重点を置いている。

中学部は、「自分から」「自分で」できることを目指しており、友達と協働する場面や活動に見通しをもたせるための教材や掲示等の工夫が見られる。

高等部は、主体的な関わりに加えて、現在や将来の生活の中でよりよく生きるために自分から問題を解決していくことに重点をおいている。

どの学部も「生涯学習力」の一部分を抜き出して学習しているものではないが、子どもの実態や過年度の研究より、重点的に育てようとしている部分に違いが見られます。



重点を置いている箇所のイメージ図（色の濃い部分が重点）